

検証

どうなった あの一般質問の行方は

町有地の有効活用は

東串良町の定住促進住宅貸付制度などの施策を中沖・野方家畜検査場跡地で実施してはどうかの提案で「協議していく」とあったが、その後どうなっているのか。

平成17年9月定例会質問

上原正一 議員



町の負担は小さく

大きな効果が見込まれる手法で

他の自治体の先進事例や制度等の検討、不動産や建設業などの民間事業者の意見を聞く機会を持ち、民間活力による宅地分譲等の定住促進を行った方が、町にとって負担が小さく、より大きな効果が見込まれる方法を取り入れ、まずは農地転用や開発行為等の法手続きが不要な中沖検査場跡地の公売を手始めとし、可能なものから早い段階で実施していきたい。

町長答弁



▲売却のあった中沖家畜検査場跡地

●過去の定例会での一般質問の中から、その後、どのように町政に反映されたかを掲載しています。連載記事として、一部をピックアップして検証します。



このようになりました

中沖家畜検査場跡地については、公売により売却し、民間業者が宅地造成後、現在、分譲中である。6区画中1区画の売却が成立し、一棟が建築されている。

野方家畜検査場跡地は、隣地からすると窪地であるため、公共事業等で発生した残土を活用し、埋め立てを行っているところである。埋め立て完了後は、住宅地または企業誘致の場として、有効利用を図ることになっている。



—— 表紙写真 ——

本年度、持留川左岸側において、岡別府地区ほ場整備が施工されることになり、平成19年9月19日、持留・岡別府地域保全協議会において、生息する貴重な生物を守るために、大掛かりな引越し大作戦が行われました。この引越し大作戦には、持留小学校の児童をはじめ、地域住民約120名が参加しました